

会 議 録

会議の名称	令和3年度（2021年度）第1回国民健康保険運営協議会		
開催日時	令和3年（2021年）11月24日（水）14時00分～15時20分		
開催場所	WEB会議（地域共生センター 3階大会議室）	公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可
事務局	健康医療部 保険給付課	傍聴者数	1人
公開しなかつた理由			
出席者	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者代表：奥田幸子委員、辻由郎委員、宮野好司委員 ・保険医又は保険薬剤師代表：芦田康宏委員、飯尾雅彦委員、近藤篤委員 ・公益代表：今井誠委員、角田明義委員、内藤義彦委員、山井真理子委員 ・被用者保険等保険者代表：大西福太郎委員、寺嶋隆男委員 	
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・健康医療部：松岡部長、小杉理事、田上次長兼健康政策課長、勝井保険長兼保険資格課長 ・保険給付課：上野課長、岩瀬課長補佐、村山副主幹、石井企画係長、宮崎主査、竹口、千原 ・保険資格課：太原課長補佐、 ・保険収納課：鈴木課長、小柳課長補佐兼滞納整理係長 ・健康政策課：岸田主幹、舟橋健康戦略係長 	
	その他		
議題	<ol style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度（2020年度）国民健康保険事業特別会計決算等について（報告） <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度決算について ・重点取組項目の令和2年度評価および令和3年度取組内容について (2) 第3期「特定健康診査等実施計画」及び第2期「保健事業実施計画（データヘルス計画）」の中間評価について (3) その他 		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

令和3年度（2021年度）第1回

豊中市国民健康保険運営協議会（議事概要）

日時：令和3年（2021年）11月24日（水） 午後2時～

場所：WEB 会議（地域共生センター 3階 大会議室）

●令和2年度（2020年度）国民健康保険事業特別会計決算等について（報告）について

【資料1、資料2、資料3に基づき事務局より説明】

【質疑応答】

- 委員 ・広域化により今後府内の保険料率が統一されるうえで、府内各市町村の収納率のばらつきをどのように調整していくのか。収納率向上に力を入れている市町村が損をすることはないのか。
- 事務局 ・広域化に伴い大阪府が財政運営の責任主体となり、各市町村に対し、より適切な収納率になるよう収納率が高いところにはインセンティブを与え、低いところには努力目標を設け、各市が積極的に収納率の向上に取り組む仕掛けを行っている。
- 委員 ・保険料率が統一される令和6年度における保険料は、個々の市町村ではなく、大阪府が算定した保険給付費をもとに算出されるのか。
- 事務局 ・大阪府全体で次年度の保険給付費をまかなえるように保険料を算出し、市町村から納付金として納付することで安定運営を図っている。
- 委員 ・保険料率が統一される令和6年度において、各市の単年度収支は、どう調整されるのかを次回説明していただきたい。
- 会長 ・府内で収納率などの評価が行われていると思うので、その状況を次の機会に説明いただくと、府内における豊中市の状況が分かると思う。
- 委員 ・糖尿病性腎症重症化予防事業について、令和2年度の指導対象者数や指導実施数が極端に少ないのはなぜか。
- 事務局 ・例年は健診の結果等から対象者を抽出していたが、コロナの流行拡大により、令和2年度は医療機関からの紹介者に対してのみ指導を行ったため実施数が減少した。令和3年度については抽出等を再開している。
- 委員 ・ジェネリック医薬品普及促進について、豊中市は様々なPR活動を行っているが、市の普及率が国や府の普及率と大きく開きがあるのはなぜか。
- 事務局 ・本市も普及率は上昇しているものの、国や府には追いつかない状況である。原因については分析しきれていないが、アンケート調査の結果、医療機関や薬局の勸

めでジェネリック医薬品を使用したというご意見が多かったため、令和2年度より医師会、歯科医師会、薬剤師会への協力依頼を実施している。

- 委員 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施等に係る取り組みにおいて、通いの場における運動指導や健康教育をしていただいているが、高齢の方は食事面からのフレイル予防といった点に気づいてない方も多い。運動指導の際に骨密度検査も実施し、運動や栄養摂取が必要だという自覚を促すことが必要だと思うが、今後そのような取り組みはされるのか。
- 事務局 ・対象の年齢は限られているが今年度より健診において無料で骨密度測定を開始している。また、地域の団体からの申し入れによる出前講座も実施しており、担当者の中に管理栄養士もいることから食事・栄養面についての指導も行うことができる。

●第3期「特定健康診査等実施計画」及び第2期「保健事業実施計画（データヘルス計画）」の中間評価について

【資料4に基づき事務局より説明】

【質疑応答】

- 会長 ・受診控えに伴う医療費の減少などコロナの影響を踏まえたうえで、来年度の予算の見積もりはどうか。また、健診控えやインフルエンザの減少といった影響が来年度どう表れるのかの基本的な考えを聞かせてほしい。
- 事務局 ・令和3年度に入ってから医療費が上昇傾向にあることから、保険給付費が増加し事業費納付金の算定に影響があるのではないかと懸念している。
- 会長 ・難しい課題ではあるが、来年度予算の計画を立てる際にその算定根拠等も考慮し取り組んでいただければと思う。

●その他

- 事務局 ・未就学児に係る均等割軽減の導入及び出産育児一時金の額の改正に伴う豊中市国民健康保険条例の改正について報告。
 - ・次回の開催は令和4年1月25日。
 - ・案件は令和4年度の保険料率についての諮問など。今回と同様にWEB会議の予定。